

## バ ラ ン ス シ ー ト

# 平成25年度決算 普通会計の貸借対照表を公表します に基づく

「地方公共団体における行政改革の更なる推進のための指針」(平成18年8月31日)により、総務省から財務諸表(貸借対照表・行政コスト計算書・資金収支計算書・純資産変動計算書)を整備することが要請されています。市では、総務省方式改訂モデルにより平成25年度決算に基づく、普通会計財務諸表および連結財務諸表を作成しました。その一部である普通会計※の貸借対照表(バランスシート)の概略を掲載します。

(単位:千円)

〔資産の部〕 大和郡山市の全資産		〔負債の部〕 将来世代が負担する部分	
1. 公共資産	135,531,842	1. 固定負債	41,565,338
(1) 有形固定資産	135,379,005	(1) 地方債	36,948,355
(2) 売却可能資産	152,837	(2) 長期未払金	0
2. 投資等	3,140,919	(3) 退職手当引当金	4,614,970
(1) 投資及び出資金	677,543	(4) 損失補償引当金	2,013
(2) 貸付金	60,790	2. 流動負債	5,231,056
(3) 基金等	1,082,284	(1) 翌年度償還予定地方債	4,346,275
(4) 長期延滞債権	1,470,444	(2) 短期借入金	0
(5) 回収不能見込額	△ 150,142	(3) 未払金	0
3. 流動資産	3,914,060	(4) 翌年度支払予定退職手当	563,453
(1) 現金預金	3,729,480	(5) 賞与引当金	321,328
(2) 未収金	184,580	<b>負債合計</b>	<b>46,796,394</b>
		〔純資産の部〕 現在までの世代が負担した部分	
		<b>純資産合計</b>	<b>95,790,427</b>
<b>資産合計</b>	<b>142,586,821</b>	<b>負債及び純資産合計</b>	<b>142,586,821</b>

### 用語の解説

**公共資産**：行政サービスを提供するための資産  
(道路・公園・学校など)

**投資等**：土地開発公社など関係団体への出資金や貸付金、基金など

**流動資産**：必要に応じてすぐに使える基金や税金等の未収金

**固定負債**：自治体の借金である地方債など

**流動負債**：1年以内に支払や返済をしなければならないもの

**純資産**：住民サービスを提供するために保有している財産に対応する財源のうち、現在までの世代が負担した部分

貸借対照表とは、市が保有している財産(資産)と、その資産をどのような財源(負債・純資産)で賄ってきたかを表しています。市のホームページでは、普通会計財務諸表および連結財務諸表を閲覧できます。

※普通会計とは、地方公共団体間の比較が可能になるように地方財政統計上、統一的に用いられる会計区分です。

問合せ＝財政課(内線261)

## マイナンバー制度 が、もうすぐ始まります！

マイナンバー(社会保障・税番号)は、住民票を有するすべての人に1人1つの番号を付して、社会保障・税・災害対策の分野で効率的に情報を管理し、複数の機関に存在する個人の情報が同一人の情報であることを確認するために活用されるものです。

### 制度実施の流れ

**平成27年10月～**  
郵送により  
12桁のマイナンバー  
(個人番号)を通知

**平成28年1月～**  
・申請により個人番号カードを交付  
・社会保障・税・災害対策の行政手続で、段階的にマイナンバー利用開始

マイナンバー制度に関するお問い合わせは…

**☎0570-20-0178【全国共通ナビダイヤル】**

土・日曜・祝日・年末年始を除く9時30分～17時30分(外国語は、☎0570-20-0291)

マイナンバー  
たとえば、  
こんなときに使われます



- ・年金を受給しようとするときに年金事務所で提示
- ・健康保険を受給しようとするときに健康保険組合で提示
- ・毎年6月に児童手当の現況届を出す時に市町村の窓口で提示
- ・確定申告の時に税務署で提示
- ・税や社会保障の手続きで、勤務先で提示 など…